



# CSR REPORT 2009

CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY  
ETHICS COMPLIANCE  
SAFETY HEALTH  
ENVIRONMENT  
QUALITY



# アオイネオンCSRレポート2009

## アオイネオンの企業理念

## 心、情報、光にカタチに

私たちが考えるサインの第一目的は「情報を的確に伝える」ということです。そのうえで「広告主様の心が伝わるサイン」をつくることを目標としています。私たちは、お客様の「心」、「情報」をメーカーとして「光」、「カタチ」にしていきます。ギリシャ語のNEOS（新しい）から命名されたネオンの名の下に新たな価値創造にチャレンジし、環境問題やコンプライアンスなどへも積極的に取り組み、社会との共生・調和を念頭に、お客様をはじめとする全てのステークホルダーの皆様の満足と信頼を得られる企業を目指しています。

## 企業概要

社名 アオイネオン株式会社  
 創業 昭和26年8月  
 設立 昭和32年1月  
 資本金 5,750万円  
 従業員数 82名（男子65名・女子17名）  
 代表取締役社長 横山 巖

工場 静岡工場 東京工場

静岡本社 〒422-8076  
 静岡市駿河区八幡2-11-11  
 TEL 054-282-1221

東京本社 〒146-0082  
 東京都大田区池上3-6-16  
 TEL 03-3754-2111

浜松支店 〒430-0929  
 浜松市中区中央3-7-1 1F  
 TEL 053-489-5021

大阪支店 〒541-0057  
 大阪市中央区北久宝寺町4-3-5 3F  
 TEL 06-6281-3621

業務内容 ネオン・広告塔・館内サイン  
 企画・設計・施工・検査診断

## CSRレポート2009について

本レポートは、当社のCSR全般についての考え方や具体的な取り組みをステークホルダーの皆様によりわかりやすく開示するための報告書であり、2003年度に第1号を発行し、以後毎年度継続的に発行するものです。

■アオイネオンのCSRをご理解いただくために、CSRの考え方を明確に表現するとともに、出来る限り各項目ごとに方針（ポリシー）を記述し、取り組み事例を掲載しました。

■CSR活動をより具体的な形で開示するため、従業員のインタビューを掲載しました。

### ①対象読者

お客様、従業員、お取引先、株主、地域社会など、様々なステークホルダーの皆様。

### ②レポート対象範囲

アオイネオン側の全拠点（ただし、全項目について全事業所を網羅するわけではなく、テーマに基づいて代表的な事例を掲載しています。数値データにはそれぞれの対象範囲を記載しています）

### ③レポート対象期間

2008年度（2008年8月1日～2009年7月31日）とし、一部トピックスについては、それ以降の活動も掲載しています。

### ④発行時期

2010年1月（次回2010年12月予定）

### ⑤参考としたガイドライン

環境省「環境報告書ガイドライン」  
 環境省「環境会計ガイドライン」  
 GRI「持続可能性報告のガイドライン」

### ⑥WEBサイトへの掲載

アオイネオンホームページでも本レポートの全内容を掲載するなど、積極的に開示を行います。  
<http://www.aoineon.com>



静岡本社・工場



浜松支店（ハーモニア新町1F）

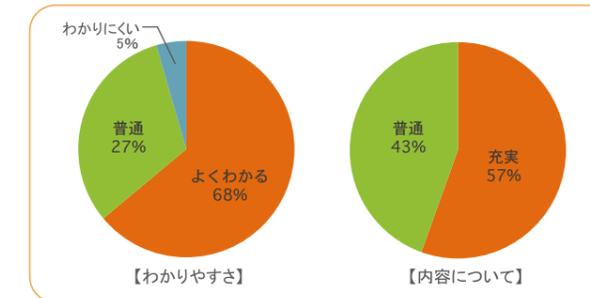


東京本社・工場



大阪支店（本町サミットビル3F）

## CSRレポートアンケート結果



### ■印象に残った項目（複数回答）

1位	エコキャップ運動への参加
2位	違反広告物共同除却活動への参加
3位	品質を守る仕組みづくり・人づくり

「アオイネオンCSRレポート2008」は2008年12月に冊子及びホームページへの掲載で発行しました。冊子版はお客様をはじめ、協力業者様、従業員、ご請求いただいた方々を中心に配慮し、レポートへのご意見についてはアンケートを実施いたしました。ご回答を頂戴しました皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。

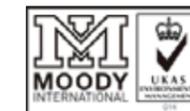
## トピックス

### ◆ ISO9001・14001の認証範囲に大阪支店を追加しました。

新たに大阪支店を認証範囲に追加し、ISO認証を取得しました。これにより、弊社の全事業所・工場で国際規格であるISOの認証を環境・品質ともに取得できました。弊社は今後ともお客様にご満足いただける製品・サービスの提供に努めて参ります。



▲大阪支店



### ◆ 確定給付企業年金制度を導入します。

当社はCSR活動を実践する従業員の福利厚生のため、平成22年より確定給付企業年金制度を導入します。従業員の“老後生活の安心”は、アオイネオンのCSR推進の力になると考えています。

## 目次

トップメッセージ	3
アオイネオンの企業理念とCSR	4
コンプライアンス	
アオイネオン倫理綱領(コンプライアンスマニュアル)	5
コンプライアンス方針	5
ライセンスレポートによるご説明	6
建設業許可と専任技術者	6
屋外広告業の登録	6
社会性報告	
違反広告物共同除却活動への参加	7
小さな親切運動への参加	8
エコキャップ運動への参加	8
環境保全活動	
アオイネオン環境方針	9
環境マネジメントシステムへの取り組み	9
主な環境影響と環境保全活動	10
「チャレンジ25」	10
環境目標に対する実績	11
環境会計	12
品質マネジメント	
アオイネオンの品質方針	13
営業・企画部門での取り組み	14
製造・開発部門での取り組み	14
労働安全衛生活動	
安全衛生委員会2008年度目標と結果	15
安全衛生委員会の主な活動と組織体制	15
安全パトロール	16
作業環境測定	16
緊急事態への対応	16
特集：事業活動を通じたCSR	17・18



“インテグリティ(誠実さ)”を  
信念としたCSR経営を実践します。

世界的な金融危機による経済の失速から、我が国も深刻な景気低迷状況に陥りました。弊社の事業におきましても、大変厳しい環境下にあります。しかし、いかなる状況にあってもCSR経営を後退させないという強い意志を貫いて参ります。

厳しい時期にこそ、技術を磨き、人を育て、アオイネオンの社会的使命を再度認識し、具体的な活動とその成果を追求いたします。社是であり全社員共通の信念である「嘘をつかない」「真面目な仕事」を守り、「コンプライアンス」を核とした“インテグリティ(誠実さ)”を企業文化として築き続けます。こうした積み重ねが社内の結束を高め企業力を強化することにも繋がると考えております。

CSR活動は、私どもアオイネオンが永続的に社会の皆様へ受け入れていただき、企業価値を高めていくために必要不可欠なものです。この活動をさらに推進していくために、私どもが何を考え、どのように取り組んでいるのか、皆様にお伝えしご理解いただくことが大切と考え『アオイネオンCSRレポート2009』を作成いたしました。

まだまだ未熟なものではありますが、当社の活動に対してぜひ忌憚のないご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

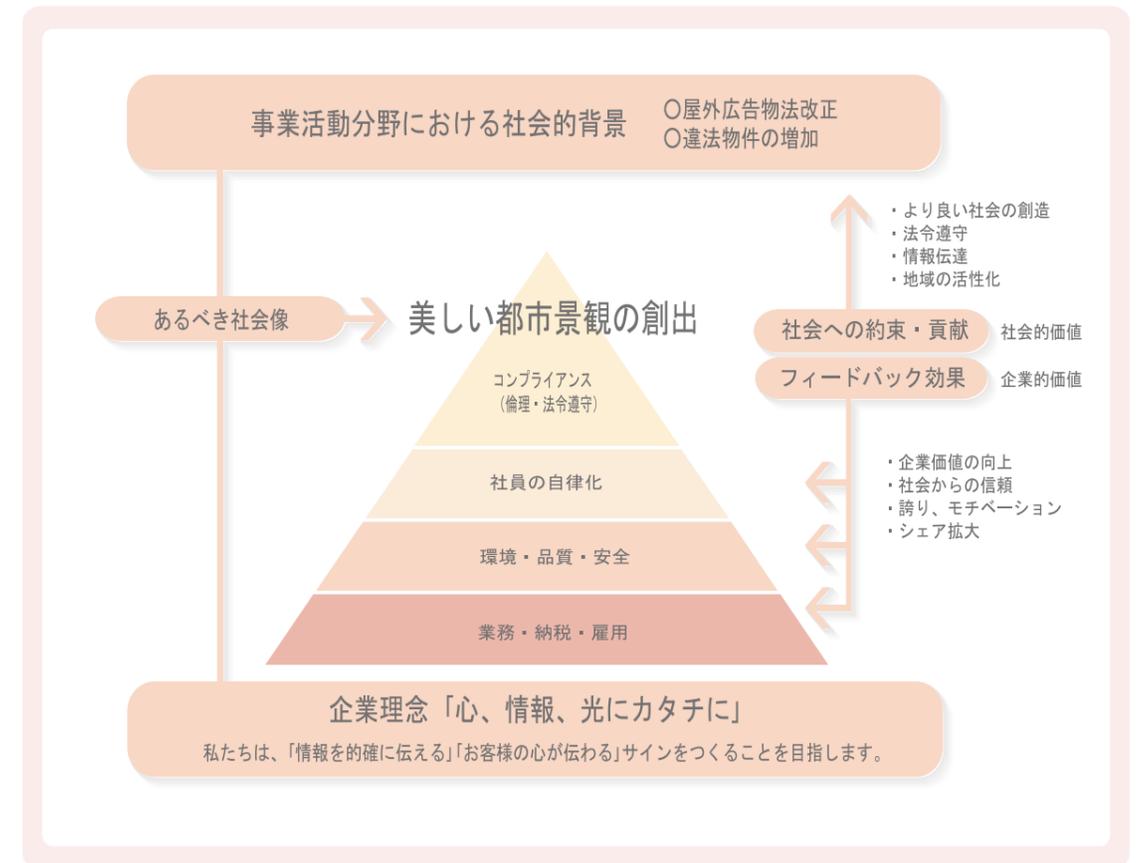
横山 巖

## アオイネオンの企業理念とCSR<sup>※</sup>

当社では、2004年8月にCSR委員会を社内を設置しました。企業理念に基づき「美しい都市景観の創出」の実現に向けて、CSR活動の核となるコンプライアンス(倫理法令遵守)体制の構築に着手し、役員・従業員の一人ひとりが企業市民として社会的良識をもって行動するための基本となるコンプライアンス方針及び行動規範を制定しました。「美しい都市景観の創出」は、アオイネオンの経営理念より導き出された事業活動分野における“あるべき社会像”であると同時に、屋外広告物法改正や違法物件の増加などの背景から社会が求めている姿でもあります。

CSR活動により当社は、社会的価値である、より良い社会創造・法令遵守・情報伝達・地域の活性化を約束し、社会から支持される「価値ある企業」を目指します。

アオイネオンのCSR活動領域及び企業理念と目指すべき姿との関係を以下の図に表しました。



※“Corporate Social Responsibility”の略で「企業の社会的責任」(企業が果たすべき社会的責任)と一般では訳される。

## コンプライアンスを中心としたCSRの実践を通じ、企業理念の具現化を目指しています。

法令を遵守し、倫理的に事業活動を行うことは、アオイネオンの企業文化において最も重要な事項の一つです。当社では、事業活動における誠実な取り組みを強化し、法的、倫理的問題に的確に対応する体制を確保することによりお客様、お取引先、株主をはじめ社会のすべての人から信頼されるようコンプライアンスの徹底に向けた取り組みを行っています。

### ● アオイネオン倫理綱領(コンプライアンスマニュアル)

当社では2005年に「コンプライアンス方針」を制定し公正かつ適切な経営を実現し、企業市民として社会的責任を果たすことに取り組んできました。

また、コンプライアンスの徹底には、一人ひとりが、自らの行動をコンプライアンスの観点から確認して、業務に取り組むことが必要です。CSR委員会を中心に論議を重ね、行動規範を定めた「倫理綱領」を作成し全従業員に配布するとともに教育を実施し、CSR経営の重要性と、その土台となるコンプライアンス意識の浸透を図りました。



### ● コンプライアンス方針

#### 1. 法令・ルールを守り、地域社会に貢献しよう

私たちは顧客、取引先、株主等を含む幅広い社会との健全で良好な関係を維持するとともに法令や社会的規範、社会的良識に基づいた企業活動を行い、地域社会発展の一翼を担います。

#### 2. お客様に喜ばれる努力をしよう

私たちはお客様がサインに期待する情報伝達機能を確実に果たすとともに、お客様が安心して掲出を続けられる安全性、耐久性の確保を実現します。

#### 3. みんなで創ろう笑顔のある職場

私たちはすべての人々の人権を尊重します。また一人ひとりが互いに信頼できる健全な職場環境をつくります。

#### 4. 一人ひとりの心がけ健康づくり安全作業

私たちは社員一人ひとりが心身ともに健康で、安全に働くことができる、事故や災害のない職場づくりを目指します。

### ● ライセンスレポートによるご説明

お客さまに安心してご発注して頂くために、工事に必要な許認可や資格について事前にご説明しております。

また、「ライセンスレポート」により弊社の許認可取得状況、専任技術者、有資格者等の有無についてもご確認いただけます。



ライセンスレポート「建設業許可」編、「屋外広告業」編

### ● 建設業許可と専任技術者

個人・法人などの形態や、商社・代理業などの業種を問わず、500万円以上の建設工事を請負う場合は、建設業許可が必要です。建設業許可には、28種の業種があり、工事を行う場合、その物件の主要な部分に該当する建設業許可が必要となり、該当する種類以外の建設業許可では、業務を行なえません。

弊社では、全ての事業所において専任技術者を配置し、必要な建設業の許可を所得しております。

#### 建設業許可一覧

建設業の種類	広告業として請負いする工事内容	建設業の許可番号
鋼構造物工事業	鋼材を加工又は組立し工作物（広告物本体）を築造する工事	特-19 第19713号
内装仕上工事業	館内サインを設置する工事	
建築工事業	建築工事業全般	般-21 第19713号
とび・土工工事業	工作物（広告物）の基礎工事 足場の組立工事 工作物の解体工事 重量物の運搬設置	
塗装工事業	塗装を工作物（広告塔の鉄骨など）に塗付する工事 フィルムシートや出力シートなどを広告物に貼付けする工事	
電気工事業	電材を設置又は取替える工事 （ネオン管、LED照明、投光器など）	般-19 第19713号
板金工事業	広告塔等の表示板面の取替え工事 チャンネル文字の設置や取替え工事	般-21 第19713号

技術者（静岡・東京・浜松・大阪）

一級建築士：4名

二級建築士：3名

一級建築施工管理技士：4名

二級建築施工管理技士：5名

一級電気工事施工管理技士：1名

二級電気工事施工管理技士：3名

2010年1月現在

### ● 屋外広告業の登録

#### ■ 全国105ヶ所全ての都道府県、政令市、中核市で屋外広告業の登録済

屋外広告を施工する者は、工事を行う場合の自治体への登録がなければ、施工が出来ません。元請、下請に関わらず全ての業者に登録が義務付けられており、工事の一部として屋外広告を設置する業務を請け負った場合でも登録が必要です。

弊社では、すべての地域において各事業所ごとに業務主任者を専任し登録が完了しております。

#### ■ 各事業所に在籍する屋外広告士（静岡・東京・浜松・大阪） 22名

※その他、各事業所に屋外広告物講習会修了者（13名）が在籍しております。

2010年1月現在

## 『地域社会とのきずな』を大切に より良い社会・地域づくりに貢献します。

アオイネオンでは、より良い社会・地域づくりに貢献するために  
各地域でさまざまな活動に参加しています。

これからも地域社会の特性やニーズに応じた活動に参加する  
ことで、地域社会からさらに信頼される企業市民として歩んでいきます。

### ● 大阪市・路上違反簡易広告物除去活動「かたづけ・たい活動」への参加

大阪支社では本年も大阪屋外広告美術協同組合、関西ネオン工業協同組合が主催する「かたづけ・たい」活動に参加しました。  
市街地や繁華街の違反簡易広告物(貼紙等)の撤去作業を実施しました。



5月26日 天満橋交差点周辺



6月10日 なんば周辺



11月26日 天満橋交差点周辺

### ● 東京都平成21年度 共同違反広告物除去活動への参加

東京都が実施している違法広告物の除去活動に参加しました。

本年も東京本社より大田区雪谷地区での活動に参加させていただきました。



10月15日 大田区雪谷地区



#### 社員の声



#### 地域との対話と街づくりへの協働

今回の活動への参加は地域・行政と共に行政課題に取り組む、地域とのコミュニケーションを取る良い機会になり、地域の方々の違法看板に対する意識の高さを感じました。「美しい景観の創出」「わが町を綺麗にしたい」看板の供給側と需要側とで立場は違えど街づくりに対しては同じ意識を持っている事を改めて実感しました。今後もこのような活動に積極的に参加し、目的意識の共有により街づくりの対話を地域と共に継続していきたいと思っております

東京本社 営業部 日向大季

### ● 平成21年度 『小さな親切運動』への参加

毎年、「小さな親切運動」に参加しています。

本年度は静岡市中心街の公園でのクリーン作戦に静岡本社から参加しました。



本年度は心の国際交流事業「使用済み切手の収集活動」にも参加しました。

収集された切手は、小さな親切運動県本部から(財)ジョイセフを通じて換金され、発展途上国の生活環境改善や医療支援のために活用されています。



### ● 『エコキャップ運動』への参加

「エコキャップ運動」に参加しています。ペットボトルのキャップを分別回収し再資源化することにより

CO2の発生抑制に寄与できると同時に、キャップの売却益で世界の子供たちにワクチンを届けます。

今年は、昨年の約4倍の24800個(ワクチン31人分)をNPO法人エコキャップ推進委員会に提供しました。



## 地球環境の保全は21世紀を生きる企業の使命です。

今日の社会生活において私たちに課せられた最も重要なテーマのひとつは次世代そして遠い未来に向けて美しい地球環境を守り引き継いでいく事です。

アオイネオンでは各事業所、各部門が目標を立て事業プロセスから生じる環境負荷の低減に努めています。

### ● アオイネオンの環境方針

アオイネオンは2001年に「環境問題改善プロジェクト」をスタートさせ、「アオイネオン環境方針」のもと環境保全活動に着手しました。また2009年には国際環境規格ISO14001を全事業所・工場で認証取得するなど、事業活動に伴い発生する様々な環境負荷の低減に向けた取り組みを進めてきました。今後も「全ての事業決定において環境に配慮する」という新たな方針のもとさらに積極的な取り組みを進めていきます。

アオイネオン環境方針(2001年6月制定 2005年8月改訂)

#### 基本方針

当社は屋内外における情報伝達メディアであるサインの製作にあたり、すべての事業決定において地球環境への配慮を実現し、社会的責任を果たすことを目指します。そのために環境マネジメントシステムを継続的に改善し、汚染の予防と環境パフォーマンスの向上に努めます。また、環境関連法令、その他の要求事項を遵守し、地域社会との協調に努めます。

特に下記項目を環境目的として取組んでまいります。

1. 資源・エネルギーの節減
2. グリーン購入の推進
3. 産業廃棄物の削減

この方針は組織のために働くすべての人に周知し、広く一般に開示します。

### ● 環境マネジメントシステムへの取り組み

当社が環境保全に関わる活動を推進するに当たり、環境に関連する方針や目標を設定し、これらの達成に向けて取り組んでいます。

ISO14001規格に従い環境マネジメントシステムを運用し、定期的に外部審査、内部監査を実施しています。外部審査では毎年の定期審査、3年毎の更新審査でシステムの適合性と有効性の審査を受けています。



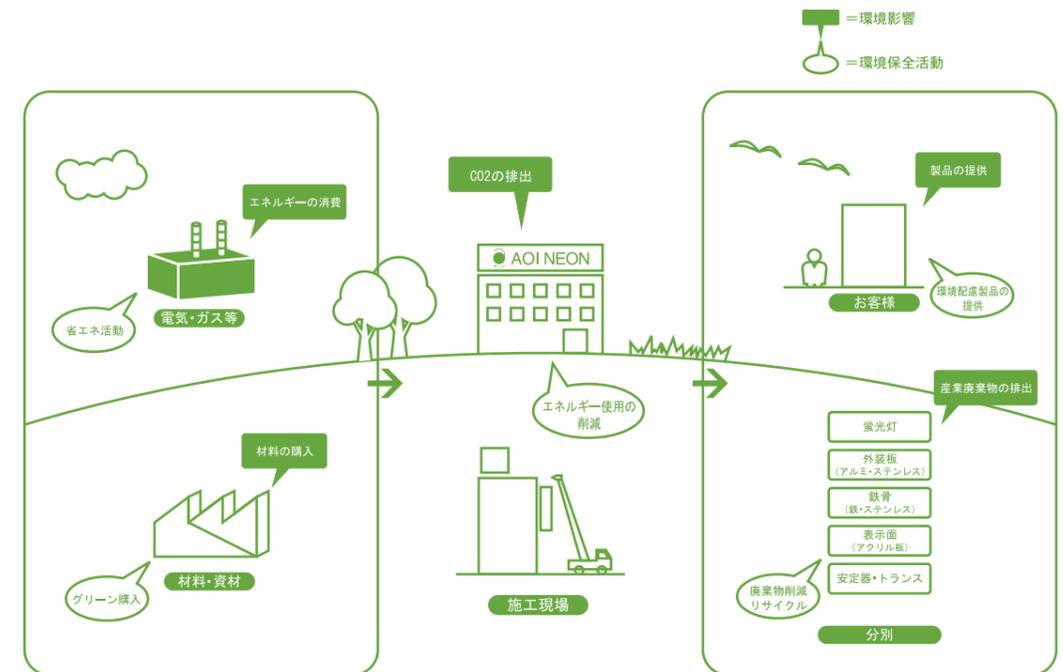
東京・静岡・大阪・浜松の全事業所・工場でISO14001の認証を取得しています。



外部審査機関による審査の様子

### ● 主な環境影響と保全活動

製品を製造しお客様に提供するまでに、資源やエネルギーの消費、産業廃棄物の発生やCO2の大气への排出など環境に負荷を与えています。私たちは事業活動にともなう環境への負荷を正しく認識し、持続可能な地球環境のために省エネ・省資源、廃棄物削減などの環境保全活動を推進していきます。



### ● 「チャレンジ25」にチャレンジャー登録しています。

アオイネオンは2010年より、地球温暖化防止のための新しい国民的運動「チャレンジ25」にチャレンジャー登録しています。

夏期のクールビズや冬期のウォームビズへの実施によりオフィスでの使用電力削減に取り組んでいます。またエコドライブの推進により使用燃料の削減を実践し、温室効果ガスの削減に貢献しています。



#### 社員の声



#### ISO14001に取り組んで

ISO認証取得にあたり普段聞き慣れない単語やシステムについて理解するのに苦労しましたが、支店メンバーの協力もあり無事に大阪支店においても認証取得することができました。今後は現状で満足せず、環境保全について自分たちでなができるのだろうか検討し、社会に貢献できるよう努力していきたいと思ひます。

大阪支店 環境管理責任者 神田昌寿

## ● 2008年度 環境目標に対する実績

対象期間：2008年8月1日～2009年7月31日  
対象サイト：静岡本社、東京本社、大阪支店、浜松支店

### 静岡本社

項目	基準年	目標値	実績値	評価
産業廃棄物削減	2007	0.082 m <sup>3</sup>	0.088 m <sup>3</sup>	×
資源・エネルギー 使用量の削減	2007	90.43 t-CO <sub>2</sub>	83.17 t-CO <sub>2</sub>	◎
グリーン購入の推進	2007	74.2 %	89.3 %	◎
	2007	28.2 %	26.8 %	×
法規制の遵守		100%	100%	◎

### 東京本社

項目	基準年	目標値	実績値	評価
産業廃棄物削減	2007	0.072 m <sup>3</sup>	0.077 m <sup>3</sup>	×
資源・エネルギー 使用量の削減	2007	63.92 t-CO <sub>2</sub>	56.79 t-CO <sub>2</sub>	◎
グリーン購入の推進	2007	60.0 %	73.0 %	◎
	2006	50.0 %	65.2 %	◎
法規制の遵守		100%	100%	◎

### 浜松支店

※事業所移転のため、本年度は一部実績値把握を目標としています。

項目	基準年	目標値	実績値	評価
産業廃棄物削減			17.5 m <sup>3</sup>	
資源・エネルギー 使用量の削減			17.26 t-CO <sub>2</sub>	
グリーン購入の推進	2007	70.0 %	90.4 %	◎
	2007	35.0 %	74.0 %	◎
法規制の遵守		100%	100%	◎

### 大阪支店

※EMS構築初年度のため、本年度4月～7月は実績値把握を目標としています。

項目	基準年	目標値	実績値	評価
産業廃棄物削減			0 m <sup>3</sup>	
資源・エネルギー 使用量の削減			45.22 t-CO <sub>2</sub>	
グリーン購入の推進			59.8 %	
法規制の遵守		100%	100%	◎

## ● 環境会計

アオイネオンでは環境会計を、環境経営の定量的指標のものさしとして捉え、環境保全活動に関わる投資額や費用額、また環境保全効果や経済効果を把握して評価することにより、効果的な取り組みを図っています。

### ■ 環境保全コスト

2008年度の環境保全コストは投資、費用あわせて2,553,033,円を投入しました。(円)

分類(注1)	投資額(注2)	費用(注3)	事例
地球環境保全、公害防止コスト	0	117,629	浄化槽点検清掃、作業環境測定他
資源循環コスト	0	1,336,441	廃棄物処理委託、省資源
管理活動コスト	0	983,963	環境教育、廃棄物管理、保管庫、書籍他
社会活動コスト	0	115,000	地域貢献
環境損傷対応コスト	0	0	なし
合計	0	2,553,033	

(注1) 環境省「環境会計ガイドライン」における環境保全コストの分類  
(注2) 投資額は環境保全を目的とした設備投資  
(注3) 費用には環境保全活動に費やした維持運営管理費等が含まれます。

対象期間：2008年8月1日～2009年7月31日  
対象サイト：静岡本社、東京本社、大阪支店、浜松支店  
参考書：環境省環境会計ガイドライン他

### ■ 環境保全効果

効果についてはコストの投入により前年度より環境負荷がどれだけ改善されたかを捉えています。産業廃棄物に関しては83.65m<sup>3</sup>の削減、事業所内使用電気量に関しては23078kwhの削減、燃料消費量に関しては21197ℓの削減を達成しました。経済効果としては3,984,436円となりました。

内容	削減効果				経済効果	
	※1 2007年度	※2 2008年度	削減量	単位	内容	金額(円)
産業廃棄物の削減	167.20	83.55	83.65	m <sup>3</sup>	分別による削減	836,500
事業所内使用電気量の削減	189363	166285	23078	kwh	節電による削減	392,326
燃料消費量の削減	54211	33014	21197	リットル	エコドライブによる削減	2,755,610

※1 2008年度事業実績に換算した値 ※2 2008年度実績

## 『お客様から選ばれる企業』を目指し 品質向上に取り組みます。

多くのステークホルダーの満足を獲得し、当社の企業価値の向上を図っていくためには、当社が提供する製品やサービスの品質、性能の向上、適切な保守管理等を行っていくことが必須の条件であると考えています。

品質保証を基本とする品質マネジメントシステム国際規格であるISO9001を足がかりとし、競争力のある強い企業になるために目標に向かって邁進できる体制構築に注力しています。

### ● アオインネオンの品質方針

お客様に安全な製品を提供していくためには、製品の品質を管理するための仕組みの整備が不可欠です。当社では創業以来、独自の品質管理の仕組みを構築してきました。その仕組みをさらに強化するために2001年に品質方針を制定し、2009年には全事業所で品質管理システムの国際規格であるISO9001の認証を取得しました。

また、外部審査機関による監査や社内の専門の担当者が各事業所の品質管理状態を確認する品質監査を毎年実施しています。この品質監査の機会を通じて、各事業所における品質改善事例の水平展開をおこない、全社を通じた品質の向上につながっています。

アオインネオン品質方針(2001年8月制定 2007年8月改訂)

### 『アオインネオン株式会社の経営理念』

心、情報、光にカタチに

### 基本方針

1. お客様がサインに期待する情報伝達機能を確実に果たします。
2. お客様が安心して掲出を続けられる安全性、耐久性を確保します。

私たちは「製品の品質」に加え「顧客満足」を重要視した「組織の質」の向上を実現するために、絶えず改善を続けます。

### 品質目標

1. お客様満足度の向上
2. 高品質の製品づくり
3. 安全性と耐久性の確保
4. シェアの拡大



東京・静岡・大阪・浜松の全事業所・工場でISO9001の認証を取得しています。

### ● 営業・企画部門での取り組み

営業・企画部門は、お客様への企画提案から納入、設置に至る全行程に関わる総合プロデューサーとして、サインに対するお客様の要求事項を的確に関連する部門に伝達し、「高品質の製品づくり」をリードしています。当社では各担当者への専門教育、部署ごとの勉強会や外部機関への講習会参加、資格取得といった取り組みにより、しっかりとした知識や技能を備えた人材育成に注力しています。



営業・企画勉強会の様子



営業部ケーススタディーの様子



### ● 製造・開発部門での取り組み

当社では、開発室を中心に自由な発想による提案や、将来のニーズに備えた製品を具現化するための研究開発を進めています。製品開発部門においては市場やお客様のニーズを分析・把握しながら製品の安全性・耐久性の確保、環境対応などを目指して多くの成果をあげています。

今後も幅広い分野において社会のニーズや課題の解決に貢献する製品・サービスの提供をご提案します。



検査装置の実験・検証の様子

### 社員の声



情報を共有し、全社一体で品質向上を目指します。

私たちはお客様からのご意見を集約し、お納めした製品はもとより、安全管理や工程管理から「問題点」、「改善点」を洗い出ししております。それらの情報はすべての事業所間で共有し、常に改善されたサービスをご提供するための材料としております。全社が一体となって製品及びサービスの「質」を向上させる事で、お客様の期待に沿い、安心と信頼を構築できるものと考えます。

浜松支店支店長 品質管理責任者 梅田 務

## 安全で快適な職場環境づくり。

人の安全と健康は何事にも代える事の出来ない価値です。特に、厳しい環境下にある建設現場等の職場を擁する当社にとって、安全で健康的な職場環境の確保は、大きな社会的責任であると考えています。当社は災害ゼロを目指して、安全確保に向けた組織的な取り組みを進めています。

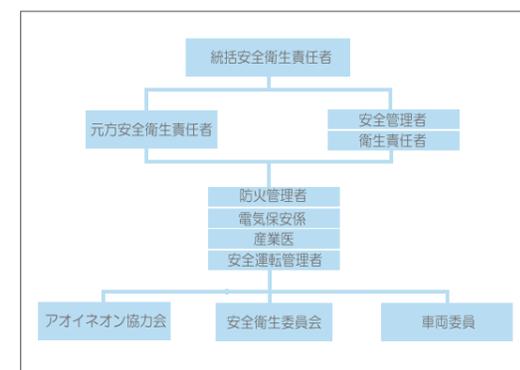
### ● 安全衛生委員会 2008年度目標と結果

当社における労働災害は、長年にわたる安全活動のなかで低減してきています。継続的な改善を目指すため、安全衛生目標を設定し、当該目標において一定期間に達成すべき到達点を明らかにし目標達成の度合いを客観的に評価できるようにしています。残念ながら達成出来なかった目標については、原因を究明し次年度の改善に結びつけます。

	2008年度目標	施策	2008年度実績
交通事故	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 重大な事故発生件数0件</li> <li>● 軽微な事故発生件数6件以下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 過去3年間に事故を起こした社員を対象に教育を実施する</li> <li>● 事故発生後、委員会で原因を究明、対策を検討、実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 重大な事故発生件数0件</li> <li>● 軽微な事故発生件数1件</li> </ul>
物損・労働災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 重大な事故発生件数0件</li> <li>● 軽微な事故発生件数5件以下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 過去3年間に事故を起こした社員を対象に教育を実施する</li> <li>● 事故発生後、委員会で原因を究明、対策を検討、実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 重大な事故発生件数0件</li> <li>● 軽微な事故発生件数6件</li> </ul>

対象：全拠点 期間：2008年8月1日～2009年7月31日

### ● 安全衛生委員会の主な活動と組織体制



安全衛生委員会	毎月1回
安全パトロール	毎月1回
KYミーティング	現場作業開始前
産業医工場巡視	毎月1回
作業環境測定	年2回

### ● 安全パトロール

月に一度、作業現場の安全パトロールを実施しています。現場での法令順守、安全対策等を委員が確認します。パトロールで不安全行動を指摘し、今後の安全対策に役立てます。



作業開始前のミーティングで危険予知



作業場所の安全対策を確認

### ● 作業環境測定

労働安全衛生法により、有害な業務を行う屋内作業(粉じん・騒音・有機溶剤などの作業)について、作業環境測定を行う義務が課せられています。当社では従業員の安全と健康を守り、快適な職場環境を確保するため定期的に作業環境測定機関による測定を実施し、職場環境の維持・向上に努めています。



塗装室



ネオン室

### ● 緊急事態への対応

火災や大規模地震などの緊急事態が発生した場合に備え、防災体制を定め運用しています。定期的な防災訓練を実施し、緊急事態発生時に人的安全の確保及び円滑な防災活動を行えるように体制を整えています。



静岡本社



大阪支店

## 看板診断システムで安全性の確保とストック型社会への貢献を目指します。

### 看板診断システム「看板ドクター」 商標登録 第4969251号

#### 安全確保とストック型社会に貢献します。

看板を長期的に良好な状態で維持するためには定期的なその現状を正確に把握する必要があります。看板診断システム「看板ドクター」は、訓練された検査員が内視鏡カメラ、超音波厚さ計等の機器を用いてお客様の看板を検査します。

その結果、外観を肉眼で調べるだけの目視調査に比べ調査の精度が格段に高くなり、看板の現状をより正確に把握できます。補修や改修を実施したり、長期改修計画を策定する際にも、より実態に則した内容とすることが可能となります。

また、既存の看板をより長期間に使用することで、環境保全や資源の有効活用を実現しストック型社会への貢献に寄与します。



#### 隠れた欠陥を早期に発見します。

屋外に設置されている看板は、長い間風雨に晒され、鉄部にサビが発生して腐食していきます。連結部や支柱など目で見てわかるサビや腐食があれば、外観からは想像できない内部の鉄骨の腐食もあり通常の目視調査だけでは発見できないケースが多く見受けられます。

内部の劣化や腐食が具体的な不具合となって表面化するまでには時間がかかるため、欠陥が判明したときにはすでに落下や倒壊等の事故が起きていたということも考えられます。

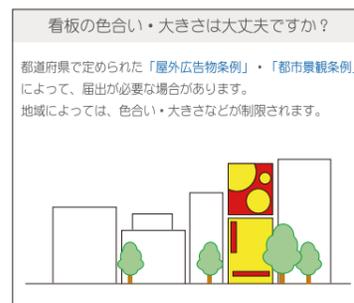
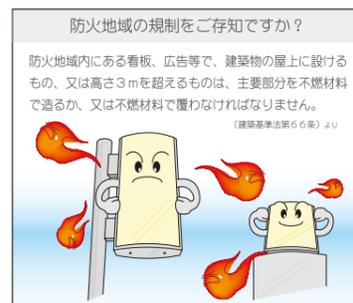
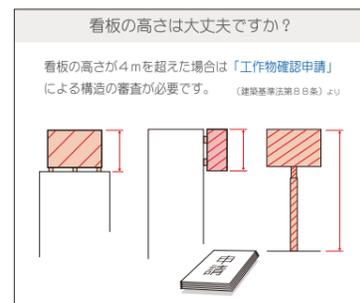
看板ドクターなら本体を損傷せずに内部の様子を確認できるため、隠れた欠陥を早期に発見できる確率が高いと言えます。



#### 法令に関するチェックを怠りません。

建築基準法、消防法に基づく各所申請状況や都道府県、市が定める条例の確認を実施します。

私たちはプロとして遵法での改修方法をご提案する義務があると考えています。



※該当する法令の一部を掲載しています。

## お客様の負担を減らし、短時間で検査できるように新しい技術の開発を続けていきます。

検査システム「アンカードクター」、「ツリーテスター」は当社で研究、開発、試験を重ねて特許を取得した検査技術です。これからも私たちは看板ドクターを「安心・安全」を一層高度に実現できるシステムへと磨きあげていきます。

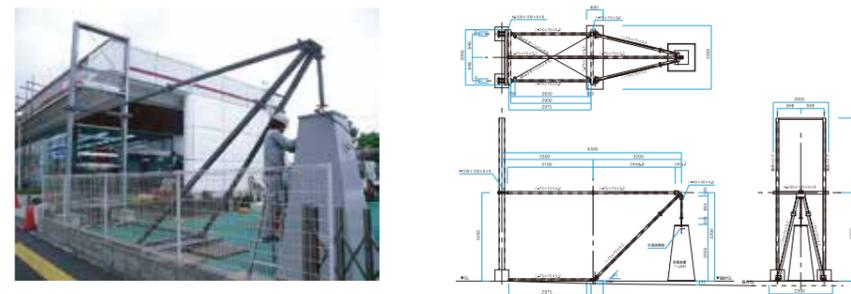
### アンカードクター(アンカーボルト引抜き検査) 特許 第3779722号 商標登録 第503991号

既存アンカーボルトに特殊検査リングを装着し、締め付けることで発生するひずみを測定します。看板を取り外さずに引抜き検査が実施出来ます。



### ツリーテスター(埋設基礎検査) 特許 第4440331号 商標登録 第5290427号

設計図や構造計算書が無くても、地耐力が判らなくても、診断可能です。



## トピックス

### 危機管理産業展2009に出展しました。

2009年10月21日から23日まで東京ビッグサイトで開催された『危機管理産業展』に出展しました。同展は「防災」「防犯」「リスク管理」という危機管理の分野を横断的に統合した国内最大級のトレードショーとして開催され、当社の看板診断システム「看板ドクター」と、看板を設置したままアンカーの引き抜き耐力を測定できる「アンカードクター」を出展しました。ブースでは、看板内部に内視鏡カメラを入れた実演が来場者の注目を集めたほか、当社が現場で遭遇した危険な看板事例をパネル展示しました。





# 心、情報、光にカタチに

<http://www.aoineon.com>

未来が変わる。日本が変わる。  
チャレンジ  
25

## アオイネオン株式会社

一級建築士事務所 特定建設業許可（国土交通大臣）

ISO14001:2004（東京・静岡・浜松・大阪） ISO9001:2008（東京・静岡・浜松・大阪） 認証取得